

Ⅲ 最高レベルの医の心と技をもった人材の確保、育成

2. 最高レベルの医の技をもった人材の確保、育成

法人本部	医療専門職教育研修センター	看護専門学校	総合医療センター	西和医療センター	総合リハビリテーションセンター
<ul style="list-style-type: none"> 人材確保 合同就職説明会に参加 初期臨床研修医のマッチング率 100% 後期研修医数 8人 専門医の確保 必要な看護師数の確保 看護専門学校への就職説明会の実施 法人看護専門学校から法人への就職率 60% 法人看護専門学校への就職説明会の実施 コメディカルの確保 新卒学生向けの情報発信 事務職員の確保 専門性の高い事務職員の採用 認定看護師増員 増員後の認定看護師数 総合医療センター 11人 西和医療センター 4人 総合リハビリテーションセンター 3人 専攻統合に向けた魅力ある教育カリキュラムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 教育研修の充実検討 【共通】・他部門との連携、役割分担の検討 【職員】・次年度以後の職員研修のさらなる充実の検討 【地域】・地域医療機関向け研修の検討 【国際】・海外医療機関との連携調整 外国人受け入れ認証病院の訪問 海外医療機関への訪問検討 次年度研修プログラム構築 研修 新規採用者研修(全職種) …4/1～4/2 看護師新規採用者研修…4/28 新規採用者後期研修 …11/20, 11/26 師長、主任研修…6/20, 6/30 医療従事者研修(実施予定) …9月頃 ノンテクニカルスキル(*)研修 …6～7月頃 3センターの職員に実施 (*)ノンテクニカルスキル 「状況認識」「コミュニケーション」 「リーダーシップ」「疲労管理」などの ヒューマンエラーを避け、安全を確保 していくための現場スタッフが 持つべきスキル 	<ul style="list-style-type: none"> 法人看護専門学校から法人への就職率 60% 積極的な学生募集活動 統合校開設に向けた準備 教員、学生の意識の統一 学則の作成 理念の策定 カリキュラムの作成 シラバスの作成 実習施設の調整 講師の選定 カリキュラム等の申請 国家試験合格率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種での研修や症例検討会の開催 ハンズオン(体験型学習)年6回開催 診療情報管理士、MSW(医療ソーシャルワーカー)など専門技能資格取得支援と人材確保 組織横断的な臨床研究や治験の展開 治験情報の蓄積、治験業務執行体制の強化 登録医を中心とした地域の医療機関との連携 他病院と共同開催する研修の企画、参加 へき地勤務医師等の研修の受け入れ 医師の研修受け入れ 3人 積極的なリクルート活動の推進 合同就職説明会や本部と共同した 学校訪問を実施 ホームページの充実 医療センター見学の受け入れ レジデント(*), 認定看護師等の確保 初期研修医のマッチング率 (次年度採用分) 100% レジデントの確保 (次年度採用分) 8名 認定看護師数 11名 看護師実習受け入れ校からの看護師確保 当機構看護専門学校の教育への参画 実習の最大限の受け入れ <p>(*)レジデント 専攻医。専攻医は、初期研修終了後 3年間の医師であり専門医制度で 定められたカリキュラムに従って、 診療業務を通じ、専門医を目指す 修練を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 初期臨床研修医 4名 (マッチング率 100%) 魅力ある研修プログラムの作成 研修等受講のための多様な勤務形態の導入の検討 研修の視点から魅力ある診療科づくり 展開 優れた指導医の育成 専攻医修練体制の充実 後期研修医教育体制の確立 心臓リハビリテーション指導士の 養成・確保 コメディカル分野の専門職員の 養成・確保 臨床経験豊富な教員の育成・確保 臨床研究の実践(共同研究、自主 研修) 診療部：20件 新人、専門、実習等 院内職員向け 研修計画の立案 認定看護師数 4名 研修環境の整備充実 (無線LANの敷設等) 当機構看護専門学校の教育への 参画 実習の最大限の受け入れ 	<ul style="list-style-type: none"> キャリアアップ・スキルアップの支援 認定看護師、介護福祉士等の資格 取得支援 学会や研修会等への参加及び 研究活動や論文発表を積極的に 行うことができる仕組みづくり 認定看護師数 3名